

SG-100 INTERCOAT CLEAR

一般情報

SG-100 インターコートクリアは SHIMRIN ベースコートのアートワークテーピングから保護するためのクリアです。ウレタンエナメルでトップコートする時のみご使用ください。SG-100 インターコートクリアはテープによるマーキングやメタリックを剥がすといったことを防ぎます。アートワークを行って塗装した後、テープマークや粘着材の残りを減少させるために出来るだけ早くテープを剥がしてください。

SG-100 インターコートクリアは SHIMRIN パールとメタリックベースコート、パールと Kandy Koncentrates、SHIMRIN ベースに入れてご使用できます。

注：ラッカーでトップコートを行う際は、C-1 アクリルラッカークリアをお使いください。

重要

最終クリアとして SG-100 はご使用にならないで下さい！ SG-100 はアートワークテープアウトからの保護や他の製品と混ぜて使う製品です。耐候性となる成分は含まれていません。また SG-100 で過度なコーティングは避けてください。

ひび割れが生じる可能性があるため SG-100 をミディアムコートで 4 回以上塗装するのはお止めください。

通常よりも希釈した場合にはコーティング回数を増やすことは可能です。

1. SG-100 インターコートクリアの希釈

SG-100 をよくかき混ぜ、コズミックリデューサーが 1、SG-100 が 2 の比率で希釈します。速乾性の RU-310 を使用するか、もしくは作業場の環境に合わせてリデューサーを選んでください。硬化剤は入れません。リデューサーの詳細については、テックシートをご参照ください。

注：希釈できる最も薄いレベルは SG-100 が 1 に対し、リデューサーが 1 です。コズミック Kandy またはパール系が追加される場合は常にこの比率でご使用ください。

2. SG-100 インターコートクリアの塗装

SHIMRIN ベースが完全に乾燥したことを確認した上で、50%の重複スプレーパターンにて 1～2 回のミディアムコーティングで SG-100 インターコートクリアを塗装してください。ガンを車体から 6 インチほど離し、1～2 回ミディアムコートで塗装してください。空気圧はガンで 40-50 psi、HVLP のノズルで 10 psi に設定してください。コーティング間の乾燥時間は十分取り、テーピングをする場合は約 1 時間おいてから始めてください（この待ち時間は環境によって変わってきます）。

SG-100 の乾燥度確認： SG-100 はセミグロスの状態で乾燥し、触ると乾いています。

注：SG-100 を 4 コーティング以上塗装するのは避けてください。過度に塗装を重ねるように設計されていません。

注：乾燥時間が 12 時間以上経過してしまった場合、400-500 グリッドのウェットで軽くペーパーがけを行ってください。

3. タッチアップとブレンド

SG-100 インターコートクリアは SHIMRIN パールとメタリックベースコートでタッチアップした後に色を馴染ませるためにお使いいただけます。SG-100 をミディアムコートで 1 回、タッチアップした部分の回りを塗ります。メタリックがその部分だけ濃くなってしまうということはありません。その後 Kosmic Kolor クリアを塗装します。

注：SG-100 を利用して SHIMRIN ベースのタッチアップで色を馴染ませることも可能です。

4. KANDYS

SG-100 インターコートクリアは Kandy Koncentrates と混ぜることによって、Kandy フィニッシュを得ることができます。

ウレタントップコートの下で多数のテーピングが必要な場合には最適です。また作業の早さが重要となる小さなパーツやグラフィックでの使用に適しています。

Kandy Koncentrates についての詳細は、テックシートをご参照ください。



SG-100 INTERCOAT CLEAR

5. パール塗装

SG-100 はパール塗料を作ることもできます。希釈はリデュースの量を通常の2倍にし、SG-100 を1、リデュースを1の比率で混ぜます。

ドライパールをご利用の場合、1クォートにティースプーン半分から始めて分量を調整してください。

パールペイントをご利用の際は、クォートにティースプーン4分の1から始めて分量を調整してください。この分量はベースの色が薄目であることが前提のスターティングポイントです。ベースの色が濃い場合はパールがもっと少なくても済みます。

注：パールを入れ過ぎると色の濁り、まだら、筋や片寄り等の原因となります。パールは密度が高すぎると輝きが落ち、前記の様な問題の原因となります。

Kandy 塗装と同様に75%の重複スプレーパターンで塗装し、4コーティング以上の塗装は避けてください。

パールコンセントレートの使用法については、テックシートをご参照ください。

6. クリアコート

最終クリアとしてSG-100のご使用はお止めください。SG-100はコズミックカラーのUC-1、UFC-1、UFC-19、UFC-35、UC35によって最終クリアでかぶせる必要があります。

